

生徒たちの感想文から思う

【高橋ピン子さんによる保健講話（1年生）開催】

（演題） 心が生きる「性」講座 今を生きるあなたと未来へ
～ 大切なみんなへ今だから伝えたいこと ～

（講師） 高橋ピン子 さん （本校 PTA 会長）

長野県教育委員会:教職員の性に関する指導充実のための講師

看護師 誕生学アドバイザー ICA 国際コーチ協会認定ポテンシャルコーチ

先月 9 月 17 日、高橋ピン子さんを講師にお招きし、1 年生の保健講話を実施いたしました。生徒たちは各教室においてオンラインでお話をお聞きしました。

生徒が書いた感想をいくつかご紹介します。

○日々の当たり前を当たり前と思わずに、幸せを噛みしめて毎日を大切に生きていきたいです。高橋さんが最後におっしゃった「生まれてきてくれてありがとう」という言葉、とても心が温かくなりました。本当にこちらこそです。

○出産の映像を見て、どれだけ大切に思って子どもを産んでいるのか分かった気がした。自分の母や父も同じような気持ちで産んでくれたのかなと思うと、両親を大切にしたいと思いました。

○最後の「生れてきてくれてありがとう」という言葉。私たちは「生んでくれてありがとう」という気持ちでこれからの未来を大切にしていきたいと思います。

○お母さんにいつか「自分を生んでくれてありがとう」と言えたらいいなと思いました。

○今を生きるということは、誰かの「愛情」を受け取った証。この言葉に心を打たれました。自然と感謝の気持ちが生まれました。

○赤ちゃんは愛情がないと 1 歳まで生きられないという話を聞いて、父母に「ありがとう」と言いたいと思った。自分の子供ができた時、同じように愛情を注いであげたいと思いました。お父さんとお母さんを選んでよかったと思いました。

○自分が生まれてくることができたということに感謝し、その中で自分ができることに一生懸命に取り組むこと、またすべてが当たり前ではないんだという意識を常に持ち続けていきたい。心もいい大人になれるように、自己を成長させることができる行動をとっていきたい。

○将来看護師になりたいと思っています。今日の講演を聞いて、命の大切さ、奇跡の瞬間、生きていることは当たり前じゃないこと、などたくさん学びました。改めて夢を諦めたくないと思いました。

生徒たちは、本校の教育活動を通して、着実に成長しています。「性」について真剣に考えた時、子どもたちは、「感謝」「ありがとう」を口にします。保護者の皆様、お子さんたちはいつの間にか親が気付かぬうちに「大人」になってきています。

我々親は子どもの成長とともに色々期待したり、要求するものが大きくなったりするものです。でも、子どもがそこに元気でいてくれることがどれだけ親として幸せなことなのかを忘れてはいませんか。一度思い出してみてください。この子が生まれてきたときのことを。感動で涙したことを。「生まれてきてくれてありがとう」と伝えたことを。しぐさや笑顔に癒され笑顔が絶えなかった日々を。そこにいてくれるだけで幸せだった毎日を。

子どもたちが成長した今でも、「今そこにいてくれるだけでありがとう」という気持ちを親としては忘れずに大切にしたいものですね。